

画像ファイルをウィンドウで表示したい

Q

Windows 8.1で写真などの画像ファイルを開くと、全画面表示されてしまいます。2枚を並べて見るといったことができません。Windows 7のようなウィンドウ表示に変更できませんか。

A

Windows 8.1の場合、画像ファイルをダブルクリックすると、初期設定ではWindowsストアアプリの「フォト」を使って表示します。Windowsス

トアプリはスマートフォンのように全画面で表示するのが基本のため、ウィンドウ表示のようにサイズを変更したり、複数の画像を同時に確認したりできません。画面が大きくな

いタブレット型パソコンであれば問題なくても、ノートパソコンやデスクトップパソコンでは不便に感じる場合もあるでしょう。

画像をウィンドウ表示させるには、画像ファイルを扱うソフトとの関連付けを変更します。画像ファイルを右クリックして「プロパティ」を開いて、プログラムの「変更」から「Windowsフォトビューアー」に切り替えましょう。Windows 7と同様にウィンドウで画像ファイルを表示できるようになります(図1~図4)。

ただし、ファイルとソフトは「BMP」や「JPEG」などの形式ごとに関連付けされています。上のよう

に設定した後も形式の異なる画像はフォトで表示します。よく使う形式ごとに、同じ手順で設定しましょう。ファイル形式は拡張子で確認できます。Windows 8.1もこれまでのWindowsと同じく、初期設定では既に関連付けされている拡張子は表示されなくなっています。そのため、多くの画像ファイルは拡張子が表示されません。フォルダーのメニューの「表示」タブ内にある「ファイル名拡張子」をチェックすると全てのファイルの拡張子を確認できます(図5、図6)。(宮川 泰明=SPOOL)

●ウィンドウ表示に切り替える

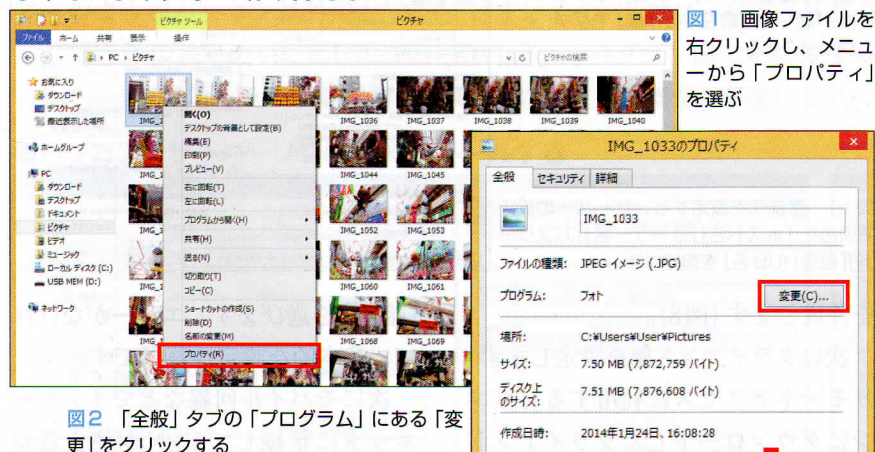


図1 画像ファイルを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選ぶ

図2 「全般」タブの「プログラム」にある「変更」をクリックする

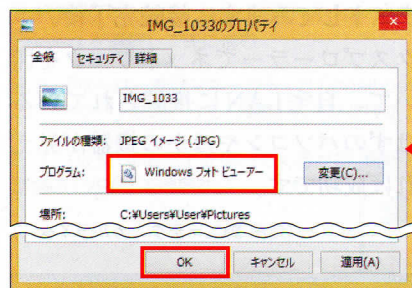


図4 プログラムがWindows フォトビューアーに変わっていることを確認し、「OK」をクリックする

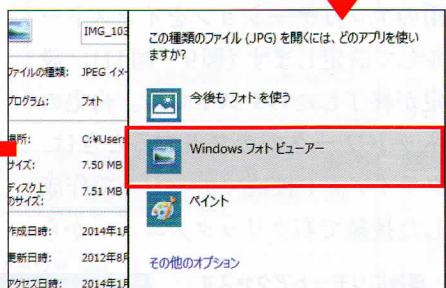


図3 ソフトのリストから「Windows フォトビューアー」を選択する。「その他のオプション」をクリックすると他の候補の一覧が表示される

●拡張子を表示する



図5 フォルダーの上段にある「表示」タブを選び、「ファイル名拡張子」をチェック

図6 チェックが入っていれば、全てのファイルで拡張子が表示される

